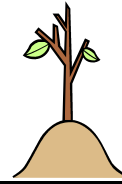


# 種時く人

令和3年6月16日  
須恵小学校便り11号



感動創造

絶望とは意味なき苦悩である。「僕の命は言葉とともにある」

福島智（世界で初めて常勤の大学教員（東京大学教授）となった盲ろう者）

先日、新聞に脊椎側彎症の生徒が、同病で苦しんだ経験のある方から励ましを受けたり医師を紹介していただいたりした話が載っていました。その生徒は、今度は自分が励ましたり治したりする番と整形外科医を目指すそうです。よいことの連鎖です。苦しみの先に希望を見つけた生徒を応援したいです。

## 6月は、心のきずなを深める月間・食育月間です

心のきずなを深める月間では、いじめの未然防止に向け、7日（土）から人権教育旬間とし、各学級で人権学習に取り組みます。また、児童会が中心となって6月18日（金）に人権集会を実施したり、心のアンケート及びいじめをなくす標語に取り組んだりします。



食育は、ご存知のとおり生きる上での基本であり、知育、徳育及び体育の基礎と言われます。本校でも様々な体験を通じ「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得させ、健全な食生活を生涯にわたって行うことができるよう、組織的に取り組みます。どんなことを学んだか、ご家庭でも聞いてあげてください。児童の分かりやすく説明する力が伸びます。

## 引き渡し訓練

引き渡し訓練は大変お世話になりました。近年災害が頻発し、児童の命をどう守るか・児童をどう皆様へ安全かつ効率的に引き渡すかが学校に求められています。実施に際して、改善点等がありましたら、遠慮なく連絡帳等で担任へお伝えください。職員の反省と保護者の皆様からのご意見を生かしながら、更に安全で効率的な引き渡しの方法を創っていきます。



## 新しく来られた先生の紹介③ 上田夏希先生

菊池市の菊之池小学校から赴任されました。今年度は5年生の担任していただいています。上田先生の教室は掲示が見事で、道徳の足跡は分かりやすく、学級目標はみんなの等身大の顔が囲っています。一つ一つの作品へのコメントも的確で愛情たっぷりです。授業では、児童の心に届くように範読を工夫されている様子を見ました。また、一人一人の発言を受け留め、それぞれの児童のよさを認めたり、引き出そうとしたりしておられました。



※裏面に、教科書展示会の案内を載せています。

## 語り部の会はお世話になりました

1年	球磨川の魚たち	伊津野 幸一 様
2年	地藏祭り	田山 泰則 様
3年	戦争中の子供たちの様子	前岡 典孝 様
4年	石坂の堰	桑原 毅紀 様
5年	地域を守る消防団	愛甲 逸人 様
6年	つつじヶ丘学園の紹介	恒松 祐輔 様

語り部の取組は、地域を愛する心の育成及びキャリア教育にとっても有効です。地域の皆様のご協力とご支援に、心から感謝します。